

上下水道プラットフォーム構想に係る
情報提供依頼書

令和8年7月

宇都宮市上下水道局 技術監理室

目次

1. 件名.....	3
2. 本 RFI の目的.....	3
3. 背景・課題.....	3
4. 目指す将来像.....	4
5. 提案・情報提供を求める事項.....	4
5.1 上下水道プラットフォーム全体構成案	4
5.2 上下水道プラットフォームに求める業務要件	4
5.3 上下水道プラットフォーム導入に向けたスケジュール	5
5.4 費用に関する情報	5
6. 提出を求める資料（回答様式は任意とする）	5
7. 提出方法.....	6
8. 提出期限.....	6
9. 質疑応答.....	6
10. その他留意事項.....	7

1 件名

上下水道プラットフォーム構想に係る情報提供依頼

2 本 RFI の目的

本 RFI は、宇都宮市上下水道局（以降、当局）が検討している「上下水道プラットフォーム構想」について、今後予定する公募型プロポーザルの要求仕様及び評価基準を整理するため、技術的実現性、想定される全体構成、段階的な導入方針、データ保有・管理主体の考え方に関し、民間事業者から幅広く情報提供を受けることを目的とし、技術的提案や実現方式、留意点の情報提供を求めるものである。

なお、本 RFI は、現時点での仕様確定、製品選定、見積取得、調達先決定を目的とするものではなく、今後の要件整理、調達方針検討、段階導入計画の具体化に資する情報収集を目的とする。また本 RFI への回答は将来の契約を約束するものではなく、回答内容をもって契約候補者の選定、参加資格の付与又は優遇を行うものではない。

3 背景・課題

当局においては人口減少や職員数減少、施設老朽化の進行、災害リスクの常態化等を背景として、従来の経験や属人的判断に依存した運営の継続が難しくなりつつある。

既存システムにより台帳の電子化及び可視化を進めてきたが、過去の個別最適なシステム導入の積み重ねにより既存運用事業者への依存が強い状況となっていること、また、既存システムはアプリケーションとデータベースが一体となった構成であることから、他システムとの連携に技術的又は契約上、一定の制約がある。

また、これまでの内部整理から、上下水道事業に関する各種データ自体は存在しているものの、部門・システムごとに分断されている。これにより、データや関連資料等が異なる形式で保存されるに伴い情報の重複・散在が発生し、蓄積されたデータを軸に正確な判断・迅速な行動へつながっていないという課題を有している。

4 目指す将来像

当局が目指す上下水道プラットフォームの将来像は、単なるデータの蓄積・検索基盤にとどまらず、当局が保有する業務データをデータベース化し、業務アプリやAIと連携し活用することが可能な組織主導型データ基盤として構築する。当初から高度なAI活用を前提条件とするものではないが、将来的には生成AIやAIエージェントが当該データベースを参照し、分析、検索、判断支援、自律的な業務支援へ発展できる構造とする。

これにより、現場職員、監督職、経営層が同一の基盤をそれぞれの視点・粒度で活用し、日常の運転・維持管理、更新・耐震化計画の策定等、経営判断、災害対応に有用なものとする。さらには、組織主導型のデータ基盤の活用により、上下水道事業の抱える経営課題の解決に有用なものとなることを期待する。

5 提案・情報提供を求める事項

情報提供者は3 背景・課題および4 目指す将来像を踏まえた提案・情報提供を行うこと。特に以下観点を重視する。

- ・データ保有／管理の主体
- ・ベンダー固有仕様への過度な依存がないか
- ・他システムとの連携
- ・将来的な拡張性

5.1 上下水道プラットフォーム全体構成案

情報提供者は、データベースをベンダー固有のシステムサーバ内ではなく、発注者側がデータ主権を確保できる環境に構築する方法について提案すること。

なお、将来はLGWANネットワークを経由し業務用端末からの接続を可能なものとする。

5.2 上下水道プラットフォームに求める業務要件

・上下水道の管路情報やそれに対する過去の設計・工事・修繕履歴、設計や保守点検業務委託の成果品を始めとした図面データ等といったPDF、写真、Word、Excelなど各形式のデータを保存・管理できる。

- ・GIS等各種アプリケーションとの連携ができる。

・将来的な AI 活用やデータ分析といった保有データの利活用を見据えた拡張ができる。

5.3 上下水道プラットフォーム導入に向けたスケジュール

現在当局が想定しているスケジュールは下記の通りである。想定案に対する対応の可否や、現実的かつ効果的な段階導入スケジュールについて、具体的な実施内容と合わせて提案すること。また、将来的な拡張に向けたロードマップも示すこと。

＜現在の想定スケジュール＞

(1) RFP・構築事業者選定

時期：令和 8 年 8 月下旬～令和 8 年 9 月下旬

内容：(2)に向けた事業者選定

(2) 設計・構築

時期：令和 8 年 10 月上旬～令和 9 年 3 月末

内容：業務課題，対象業務，対象データ等整理の上，上下水道プラットフォームの初期整備を行う。

(3) 設計・構築

時期：令和 9 年度

内容：(2)を踏まえた上下水道プラットフォームの追加整備・拡張

5.4 費用に関する情報

本 RFI は見積徴収を主目的としないが、参考情報として以下概算費用を提示すること。

(1) 年度ごとの設計・構築費用

(2) 令和 8 年度の構築後にかかる年間維持費用

(3) 費用に大きく影響する前提条件，費用変動要因

6 提出を求める資料（回答様式は任意とする）

情報提供者は、以下資料を提出すること。

(1) 会社概要・実績資料

(2) 情報提供回答書

・全体構成案

- ・導入スケジュール案
- ・概算見積書

(3) その他補足資料（任意）

7 提出方法

情報提供者は、以下により提出すること。

提出方法：紙媒体またはCD

提出先：宇都宮市上下水道局 技術監理室

件名：上下水道プラットフォーム構想に係る情報提供／会社名

例：上下水道プラットフォーム構想に係る情報提供／会社名

提出ファイル形式：Microsoft Word, PowerPoint, Excel, PDF のいずれか

8 提出期限

参加申請期限：令和 8 年 7 月 31 日（金）午後 5 時まで

質問受付期限：令和 8 年 8 月 5 日（水）午後 5 時まで

質問回答予定日：令和 8 年 8 月 7 日（金）午後 5 時まで

RFI 回答提出期限：令和 8 年 8 月 14 日（金）午後 5 時まで

基本案の提出は上記を期限とするが、提出後に追加の情報提供がある場合はその限りではない。

9 質疑応答

本 RFI に関する質問は、電子メールにより受け付ける。

質問提出先：宇都宮市上下水道局 技術監理室：u4370@city.utsunomiya.tochigi.jp

質問受付期限：令和 8 年 8 月 5 日（水）午後 5 時まで

回答方法：全参加者へ共有、または個別回答

質問様式：任意

10 その他留意事項

- ・本 RFI は、今後予定している調達に係る仕様書及び評価基準等の作成に当たり、参考とする情報を収集するために実施するものであり、本 RFI への回答をもって将来の契約を約束するものではない。
- ・本 RFI への回答に要する一切の費用は、回答者の負担とする。
- ・提出された資料は、求めに応じて返却する。
- ・提出された資料及び情報は、関係部門における検討並びに今後の調達準備に利用するものとする。
- ・当局が提供する資料は、本 RFI への回答に必要な範囲に限り使用するものとし、その他の目的に使用してはならない。
- ・提出された回答内容については、必要に応じて、追加のヒアリング又は意見交換を依頼する場合がある。
- ・本 RFI に記載した内容は、今後予定している調達に係る仕様、契約条件、評価基準その他一切の事項を拘束するものではない。
- ・本 RFI において示すスケジュール及び構築範囲は現時点での想定であり、政策形成、予算措置、回答内容等を踏まえ、今後変更する場合がある。